

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年6月5日
【発行者名】	フォーカス・シキャブ (Focused SICAV)
【代表者の役職氏名】	チェアマン・オブ・ザ・ボード・オブ・ディレクターズ ロバート・スティンガー (Robert Süttinger) メンバー・オブ・ザ・ボード・オブ・ディレクターズ イオアナ・ナウム (Ioana Naum)
【本店の所在の場所】	ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグL-1855、 J.F.ケネディ通り33A (33A avenue J.F. Kennedy, L-1855 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 三 浦 健 弁護士 大 西 信 治
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
【事務連絡者氏名】	弁護士 三 浦 健 弁護士 大 西 信 治 弁護士 白 川 剛 士
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03(6212)8316
【届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称】	フォーカス・シキャブ - グローバル・ボンド - ハイ・グレード・ボンド・米ドル - ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル - USコーポレート・ボンド・米ドル - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル (Focused SICAV - Global Bond - High Grade Bond USD - High Grade Long Term Bond USD) - US Corporate Bond USD - World Bank Long Term Bond USD)
【届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額】	記名式無額面投資証券 グローバル・ボンド クラス米ドルF - acc投資証券 クラス円ヘッジF - acc投資証券

ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券
 クラス円ヘッジF - acc投資証券
ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券
 クラス円ヘッジF - acc投資証券
USコーポレート・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券
 クラス円ヘッジF - acc投資証券
ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券
上限見込額は以下のとおりである。
グローバル・ボンド
 クラス米ドルF - acc投資証券：16億3,300万米ドル（約2,444億円）を上限とする。
 クラス円ヘッジF - acc投資証券：961億7,000万円を上限とする。
ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券：16億3,720万米ドル（約2,450億円）を上限とする。
 クラス円ヘッジF - acc投資証券：931億5,000万円を上限とする。
ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券：19億3,830万米ドル（約2,901億円）を上限とする。
 クラス円ヘッジF - acc投資証券：878億円を上限とする。
USコーポレート・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券：12億5,360万米ドル（約1,876億円）
 クラス円ヘッジF - acc投資証券：888億円
ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 クラスF - acc投資証券：11億450万米ドル（約1,653億円）
(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2025年2月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている（グローバル・ボンド・クラス米ドルF - acc投資証券については163.30米ドル（約24,441円）に1,000万口を、グローバル・ボンド・クラス円ヘッジF - acc投資証券については9,617円に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル・クラスF - acc投資証券については163.72米ドル（約24,504円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル・クラス円ヘッジF - acc投資証券については9,315円に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル・クラスF - acc投資証券については193.83米ドル（約29,011円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル・クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,780円に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・米ドル・クラスF - acc投資証券については125.36米ドル（約18,763円）に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・米ドル・クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,880円に1,000万口を、ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル・クラスF - acc投資証券については110.45米ドル（約16,531円）に1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。）。
(注2) 2025年5月20日付で、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドルはフォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・米ドルに名称を変更した。
(注3) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2025年2月28日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル = 149.67円）による。

【縦覧に供する場所】

該当事項なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2025年4月30日に提出した有価証券届出書(以下「原届出書」といいます。)について、2025年5月20日付で、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドルはフォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・米ドルに名称を変更し、ファンドの設立地における目論見書が更新されましたので、これらに関する記載を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

なお、下線の部分は訂正部分を示します。

2【訂正の内容】

表紙

<訂正前>

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称

フォーカス・シキャブ

- グローバル・ボンド
 - ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 - ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル
 - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- (Focused SICAV)
- Global Bond
 - High Grade Bond USD
 - High Grade Long Term Bond USD)
 - US Corporate Bond Sustainable USD
 - World Bank Long Term Bond USD)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額

記名式無額面投資証券

グローバル・ボンド

クラス米ドルF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ハイ・グレード・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

上限見込額は以下のとおりである。

グローバル・ボンド

クラス米ドルF - acc投資証券：16億3,300万米ドル（約2,444億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：961億7,000万円を上限とする。

ハイ・グレード・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：16億3,720万米ドル（約2,450億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：931億5,000万円を上限とする。

ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：19億3,830万米ドル（約2,901億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：878億円を上限とする。

USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル

クラスF - acc投資証券：12億5,360万米ドル（約1,876億円）

クラス円ヘッジF - acc投資証券：888億円

ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：11億450万米ドル（約1,653億円）

(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2025年2月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている（グローバル・ボンド - クラス米ドルF - acc投資証券については163.30米ドル（約24,441円）に1,000万口を、グローバル・ボンド - クラス円ヘッジF - acc投資証券については9,617円に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については163.72米ドル（約24,504円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル - クラス円ヘッジFacc投資証券については9,315円に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については193.83米ドル（約29,011円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,780円に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル - クラスF - acc投資証券については125.36米ドル（約18,763円）に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル - クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,880円に1,000万口を、ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については110.45米ドル（約16,531円）に1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。）。

(注2) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2025年2月28日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=149.67円）による。

縦覧に供する場所

該当事項なし

<訂正後>

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券に係る外国投資法人の名称

フォーカス・シキャブ

- グローバル・ボンド
 - ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 - ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 - USコーポレート・ボンド・米ドル
 - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- (Focused SICAV
- Global Bond
 - High Grade Bond USD
 - High Grade Long Term Bond USD)
 - US Corporate Bond USD
 - World Bank Long Term Bond USD)

届出の対象とした募集(売出)外国投資証券の形態及び金額

記名式無額面投資証券

グローバル・ボンド

クラス米ドルF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ハイ・グレード・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

USコーポレート・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

クラス円ヘッジF - acc投資証券

ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券

上限見込額は以下のとおりである。

グローバル・ボンド

クラス米ドルF - acc投資証券：16億3,300万米ドル（約2,444億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：961億7,000万円を上限とする。

ハイ・グレード・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：16億3,720万米ドル（約2,450億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：931億5,000万円を上限とする。

ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：19億3,830万米ドル（約2,901億円）を上限とする。

クラス円ヘッジF - acc投資証券：878億円を上限とする。

USコーポレート・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：12億5,360万米ドル（約1,876億円）

クラス円ヘッジF - acc投資証券：888億円

ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル

クラスF - acc投資証券：11億450万米ドル（約1,653億円）

(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドの投資証券の2025年2月末日現在の1口当たりの純資産価格に基づいて算出されている（グローバル・ボンド - クラス米ドルF - acc投資証券については163.30米ドル（約24,441円）に1,000万口を、グローバル・ボンド - クラス円ヘッジF - acc投資証券については9,617円に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については163.72米ドル（約24,504円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ボンド・米ドル - クラス円ヘッジF - acc投資証券については9,315円に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については193.83米ドル（約29,011円）に1,000万口を、ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,780円に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については125.36米ドル（約18,763円）に1,000万口を、USコーポレート・ボンド・米ドル - クラス円ヘッジF - acc投資証券については8,880円に1,000万口を、ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル - クラスF - acc投資証券については110.45米ドル（約16,531円）に1,000万口をそれぞれ乗じて算出した金額である。）。

(注2) 2025年5月20日付で、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドルはフォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・米ドルに名称を変更した。

(注3) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2025年2月28日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=149.67円）による。

縦覧に供する場所

該当事項なし

第一部 証券情報

第1 外国投資証券(外国新投資口予約権証券及び外国投資法人債券を除く。)

(1) 外国投資法人の名称

<訂正前>

- フォーカス・シキャブ
 - グローバル・ボンド
 - ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 - ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル
 - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- (Focused SICAV
- Global Bond
 - High Grade Bond USD
 - High Grade Long Term Bond USD
 - US Corporate Bond Sustainable USD
 - World Bank Long Term Bond USD)

(以下、フォーカス・シキャブを「本投資法人」、フォーカス・シキャブ - グローバル・ボンド、
フォーカス・シキャブ - ハイ・グレード・ボンド・米ドル、フォーカス・シキャブ - ハイ・グレード・
ロング・ターム・ボンド・米ドル、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・
米ドルおよびフォーカス・シキャブ - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドルを個別にまたは総称して「ファンド」または「サブ・ファンド」という。)

<訂正後>

- フォーカス・シキャブ
 - グローバル・ボンド
 - ハイ・グレード・ボンド・米ドル
 - ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
 - USコーポレート・ボンド・米ドル
 - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- (Focused SICAV
- Global Bond
 - High Grade Bond USD
 - High Grade Long Term Bond USD
 - US Corporate Bond USD
 - World Bank Long Term Bond USD)

(以下、フォーカス・シキャブを「本投資法人」、フォーカス・シキャブ - グローバル・ボンド、
フォーカス・シキャブ - ハイ・グレード・ボンド・米ドル、フォーカス・シキャブ - ハイ・グレード・
ロング・ターム・ボンド・米ドル、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・米ドルお
よびフォーカス・シキャブ - ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドルを個別にまたは総称
して「ファンド」または「サブ・ファンド」という。)

(注) 2025年5月20日付で、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドルはフォーカス・シキャブ
- USコーポレート・ボンド・米ドルに名称を変更した。以下同じ。

第三部 外国投資法人の詳細情報

第1 外国投資法人の追加情報

2 役員の状況

<訂正前>

(前略)

(注) 本投資法人に従業員はいない。本投資法人の独立監査人は、プライスウォーターハウスクーパース・ソシエテ・コーベラ
ティブ (PricewaterhouseCoopers, Société coopérative)である。

<訂正後>

(前略)

(注) 本投資法人に従業員はいない。本投資法人の独立監査人は、アーンスト・アンド・ヤング、ルクセンブルグである。

第4 関係法人の状況

1 資産運用会社の概況

(4) 役員の状況

<訂正前>

U B S アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ

(2025年2月末日現在)

氏名	役職名	就任	略歴	所有株式
フランチェスカ・ジリ・プリム (Francesca Gigli Prym)	ディレクター/ ボード・メンバー	2019年12月5日	U B S アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ、ルクセンブルグ、 チーフ・エグゼクティブ・オフィサー	該当なし

(後略)

<訂正後>

U B S アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ

(2025年5月20日現在)

氏名	役職名	就任	略歴	所有株式
マニュエル・ローラー (Manuel Roller)	チエアマン、 ディレクター/ ボード・メンバー	2025年3月28日	U B S アセット・マネジメント・スイス・エイ・ジー、チューリッヒ、スイス、 ヘッド・オブ・ファンドマネジメント	該当なし
フランチェスカ・ジリ・プリム (Francesca Gigli Prym)	ディレクター/ ボード・メンバー	2019年12月5日	U B S アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ、ルクセンブルグ、 チーフ・エグゼクティブ・オフィサー	該当なし

(後略)

別紙Aのうち、USコーポレート・ボンド・米ドルは以下のとおり更新されます。

別紙A

SFDR関連情報

規則(EU)2019/2088第8条第1項、第2項および第2a項ならびに
規則(EU)2020/852第6条第1項において言及される

金融商品に関する契約前の情報開示

持続可能な投資とは、環境目的または社会目的に貢献する経済活動への投資をいう。ただし、当該投資は環境目的または社会目的を著しく害するものではないことおよび投資先企業が良好なガバナンス慣行に従っていることを条件とする。

EUタクソノミーは、規則(EU)2020/852に定められる分類システムであり、環境的に持続可能な経済活動の一覧を定めたものである。当該規則には、社会的に持続可能な経済活動の一覧は含まれていない。環境目的を有する持続可能な投資は、タクソノミーに適合している場合もあれば、適合していない場合もある。

商品名: フォーカス・シキャブ-US コーポレート・ボンド・米ドル
法人識別番号: 549300726740FCTSMM20

環境的および/または社会的特性

この金融商品は持続可能な投資目的を有しているか？

● ● はい

● ● いいえ

以下の経済活動に対して環境目的を有する持続可能な投資を行う比率(下限): ___ %

環境的/社会的(E/S)特性を促進するものであり、持続可能な投資を目的とはしていないものの、少なくとも 10%の比率で以下の持続可能な投資を行う

- EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動
- EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

EUタクソノミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

社会目的を有する持続可能な投資

社会目的を有する持続可能な投資を行う比率(下限): ___ %

E/S特性を促進するものではあるが、持続可能な投資を行わない



この金融商品により、いかなる環境的および／または社会的特性が促進されるか？

この金融商品により以下の特性が促進される。

持続可能性指標とは、金融商品により促進される環境的または社会的特性がどのように実現されるかを測定するものである。

- 1) そのベンチマークのサステナビリティ・プロファイルを上回るサステナビリティ・プロファイル
- 2) 参照ベンチマークを下回る加重平均炭素原単位(WACI)

ベンチマークは、環境的および／または社会的特性に応じて構成銘柄を評価し、または含めることを行わない広範な市場指標であるため、この金融商品により促進される特性に沿うように意図されたものではない。この金融商品により促進される特性を実現する目的のために指定されているESG参照ベンチマークはない。

● この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれの実現度を測定するためにどのような持続可能性指標が用いられるか？

上記の特性は、それぞれ以下の指標を用いて測定される。

特性 1)について：

UBS ブレンデッド ESG スコアは、投資ユニバースにおいて、力強い環境および社会的なパフォーマンスの特性、または力強いサステナビリティ・プロファイルを有する発行体／企業を特定するために使用される。UBS ブレンデッド ESG スコアは、UBS ならびに定評がある外部の ESG データ・プロバイダーである MSCI および Sustainalytics の二社による、ESG の標準評価データの平均を表している。このブレンデッド・スコアの手法は、単一の見解のみに依存するのではなく複数の独立した ESG の評価を統合することにより、導き出されるサステナビリティ・プロファイルの精度を高めることになる。UBS ブレンデッド ESG スコアは企業のサステナビリティ・プロファイルを表すもので、環境、社会およびガバナンスの重要な要素を評価する。これらの要素には、環境フットプリントおよび経営効率、リスク管理、気候変動への対応、天然資源の利用、汚染物および廃棄物の管理、労働基準、サプライ・チェーンの管理、人的資源の開発、ボード・ダイバーシティ、労働安全衛生、製品の安全性ならびに不正および腐敗防止方針が含まれるが、これらに限定されない。評価の対象になる各企業に、0 から 10 の範囲で、10 が最も高いサステナビリティ・プロファイルを示す UBS ブレンデッド ESG スコアを割り当てる。

個々の投資レベルにおいて、UBS ブレンデッド ESG スコアの最低値はない。

特性 2)

スコープ 1 およびスコープ 2 の加重平均炭素原単位(WACI)：

- － スコープ1は直接的な炭素排出量をいうため、スコープ1には、関連する事業体または発行体の自社所有のまたは管理下にある排出源からのすべての直接的な温室効果ガス排出量が含まれる。
- － スコープ2は間接的な炭素排出量をいうため、スコープ2には、関連する事業体または発行体が消費する電気、熱エネルギーおよび／または蒸気の生産からの温室効果ガス排出量が含まれる。

● この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資の目的は何か、また持続可能な投資は当該目的にどのように貢献するか？

この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資の目的は、この金融商品により促進される一または複数の環境的および／または社会的特性に貢献することである。

● この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資は、環境面または社会面での持続可能な投資の目的に著しい害を及ぼすことをいかにして避けるのか？

「著しい害を及ぼさない」(DNSH)の評価に際して、UBS-AMIは、利用可能性および適切性に基づき、選定された悪影響指標を考慮する。これらの指標は、各指標について定義される個別の基準により一つのシグナルに統合される。単一の指標が満たされない場合、投資対象はDNSH基準を充足しないことになる。

持続可能性要因への悪影響の指標はどのように考慮されているのか？

主要な悪影響（以下「PAI」という。）とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大なマイナスの影響である。UBSは、その意思決定プロセスにPAI指標を組み込んでいる。

現在、以下のPAI指標が、投資ユニバースからの除外によって考慮されている。

1.4 「化石燃料セクターで活動する企業へのエクスポートジャヤー」

- 一般炭の採掘および外部業者への販売またはオイル・サンドの採掘から(UBS-AMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。
- 一般炭中心のエネルギー生産から(UBS-AMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。

1.10 「国際連合グローバル・コンパクトの原則および経済協力開発機構(OECD)多国籍企業行動指針の違反」

- 国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBS-AMのスチュアードシップ委員会が判断する企業は、除外される。

1.14 「非人道的兵器(対人地雷、クラスター弾、化学兵器および生物兵器)へのエクスポートジャヤー」

- UBS-AMIは、クラスター弾、対人地雷もしくは化学兵器および生物兵器に関する企業または核拡散防止条約に違反する企業には投資しない。UBS-AMIは、非人道的兵器の開発、生産、保管、保守もしくは輸送に関する企業またはそのような企業の過半数株主(50%以上の持株比率)である企業を非人道的兵器に関するものとみなす。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」の項に記載されている。

以下のPAI指数は、促進される特性によって考慮される。

1.3 「投資先企業のGHG原単位」

ポートフォリオ・マネジャーは、スコープ1+2の炭素原単位のベンチマークに対する絶対値または相対値の低さに基づき投資対象を選定する。

1.7 「生物多様性センシティブ・エリアに悪影響を及ぼす活動」

1.13 「取締役会のジェンダー多様性」

1.15 「GHG原単位」

1.16 「社会的違反の対象となる投資先」

持続可能な投資はOECD多国籍企業行動指針および国連ビジネスと人権に関する指導原則にどのように適合しているか？(詳細)

国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBS-AMのスチュアードシップ委員会が判断する企業は除外される。

EUタクソノミーは、タクソノミー適合投資はEUタクソノミーの目的を著しく害するものであってはならないという「著しい害を及ぼさない」原則を定めており、具体的なEU基準が伴う。

「著しい害を及ぼさない」原則は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮しているこの金融商品の原投資対象のみに適用される。この金融商品の残りの部分の原投資対象は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮していない。

その他の持続可能な投資も、環境目的または社会目的を著しく害してはならない。



この金融商品は持続可能性要因への主要な悪影響を考慮するか？

✖ 考慮する。

主要な悪影響とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関するサステナビリティ要因に投資決定が及ぼす最も重大なマイナスの影響である。

主要な悪影響(以下「PAI」という。)とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大なマイナスの影響である。UBSは、その意思決定プロセスにPAI指標を組み込んでいる。

現在、以下のPAI指標が、投資ユニバースからの除外によって考慮されている。

1.4 「化石燃料セクターで活動する企業へのエクスポートジャー」

- 一般炭の採掘および外部業者への販売またはオイル・サンドの採掘から(UBS-AMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。
- 一般炭中心のエネルギー生産から(UBS-AMサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーに基づく)一定の基準を超える収益を得る企業は、除外される。

1.10 「国際連合グローバル・コンパクトの原則および経済協力開発機構(OECD)多国籍企業行動指針の違反」

- 国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に違反している企業であって、信頼性のある是正行動を示していないとUBS-AMのスチュアードシップ委員会が判断する企業は、除外される。

1.14 「非人道的兵器(対人地雷、クラスター弾、化学兵器および生物兵器)へのエクスポートジャー」

- UBS-AMは、クラスター弾、対人地雷もしくは化学兵器および生物兵器に関与する企業または核拡散防止条約に違反する企業には投資しない。UBS-AMは、非人道的兵器の開発、生産、保管、保守もしくは輸送に関与する企業またはそのような企業の過半数株主(50%以上の持株比率)である企業を非人道的兵器に関与するものとみなす。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」の項に記載されている。

以下のPAI指数は、促進される特性によって考慮される。

1.3 「投資先企業のGHG原単位」

- ポートフォリオ・マネジャーは、スコープ1+2の炭素原単位のベンチマークに対する絶対値または相対値の低さに基づき投資対象を選定する。

「著しい害を及ぼさない」(DNSH)の評価に際して、UBS-AMは、利用可能性および適切性に基づき、選定された悪影響指標を考慮する。これらの指標は、各指標について定義される個別の基準により一つのシグナルに結合される。単一の指標が満たされない場合、投資対象はDNSH基準を充足しないことになる。以下のPAI指標もまた、本シグナルの一部である。

1.7 「生物多様性センシティブ・エリアに悪影響を及ぼす活動」

1.13 「取締役会のジェンダー多様性」

1.15 「GHG原単位」

1.16 「社会的違反の対象となる投資先国」

持続可能性要因に対するPAIの考慮に関する情報も、サブ・ファンドの年次報告書に記載されている。

考慮しない。

この金融商品が用いる投資戦略はどのようなものか？

ESG インテグレーション：

ESGインテグレーションは、リサーチ・プロセスの一環として重大なESGリスクを検討することにより行われる。ESGインテグレーションにより、ポートフォリオ・マネジャーが投資決定に影響を及ぼす財務上関連する持続可能性要因を特定し、投資決定を実行に移す際にESGに関する検討事項を組み入れることができるようになり、またESGリスクを体系的にモニタリングし、リスク選好度およびリスク制約と比較することが可能となる。ESGインテグレーションは、有価証券の選定、投資に対する確信度およびポートフォリオの組入比率を通じてポートフォリオ構築にも役立つ。

投資戦略は、投資目的およびリスク許容度等の要素に基づく投資判断の指針となるものである。

- 企業発行体の場合、このプロセスでは投資決定に影響を及ぼす可能性がある財務上関連する要因をセクター毎に特定する UBS 内部の ESG 重大問題の枠組みを利用する。財務上の重要性に対するかかる姿勢により、企業の財務パフォーマンス、ひいては投資リターンに影響を及ぼす可能性がある持続可能性要因をアナリストが重視することが確保される。また、ESG インテグレーションにより、企業の ESG リスク・プロファイルを改善し、これにより企業の財務パフォーマンスに対して ESG 上の問題が及ぼす潜在的な悪影響を軽減するためのエンゲージメントの機会を見出すことができる。ポートフォリオ・マネジャーは、重大な ESG リスクがある企業を識別するために、内部および外部の複数の ESG のデータ・ソースを組み合わせた UBS 内部の ESG リスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスに ESG リスクが組み入れられるようにするために、実用的なリスク・シグナルがポートフォリオ・マネジャーに対して ESG リスクを明確に示す。
- 企業以外の発行体の場合、ポートフォリオ・マネジャーは、重要な ESG 要因に関するデータを統合した定性的または定量的な ESG リスク評価を適用する。

重大なサステナビリティ/ESG に関する検討事項の分析には、とりわけカーボン・フットプリント、健康および福祉、人権、サプライ・チェーンの管理、顧客の公平な取扱いならびにガバナンス等の様々な側面を含めることができる。

ファンド特有の除外事項:

企業発行体:一般的に企業発行体は、5の基準(1=極めて低い、2=低い、3=普通、4=高い、5=極めて高い)を用いて発行体を評価する独自のUBS ESGリスク勧告を用いてESGリスクについて評価を受ける。各サブ・ファンドは、UBS ESGリスク勧告全体が1から3の間にあり、サステナビリティ・フォーカス・ファンドにとって受け入れ可能なリスクであるとみなされる場合を除き、概して、ESGリスク・ダッシュボード(ESG統合の項に記載される。)において特定されるリスクのある企業発行体を除外する。

非企業発行体:企業自身のESGリスク勧告がない場合、サブ・ファンドは独自のESGリスク・ダッシュボードシグナルによるリスク・シグナルを考慮して、独自のESGリスク・ダッシュボードによるポジティブ・リスク・シグナルの発行体を除外する。

証券化債券は、ESG統合プロセスの対象範囲部分ではない。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー:

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」の項に記載されている。

● この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれを実現するための投資対象を選定するために用いられる投資戦略の結合要素はどのようなものか？

この金融商品により促進される一または複数の特性を実現するための投資対象を選定するため、投資戦略の以下の一または複数の結合要素が用いられる。

特性1):

ベンチマークのサステナビリティ・プロファイルを上回るサステナビリティ・プロファイル

特性2):

そのベンチマークを下回るスコープ1およびスコープ2の加重平均炭素原単位(WACI)

計算では、現金、デリバティブおよび無格付投資商品は考慮されない。

四半期末に、当該四半期のすべての営業日における価額の平均値を用いて、一または複数の特性ならびにこの金融商品により促進される環境的および/または社会的特性を満たすために利用される持続可能な投資対象の最低比率および投資対象の最低比率が計算される。

ファンド特有の除外事項:

企業発行体:一般的に企業発行体は、5の基準(1—極めて低い、2—低い、3—普通、4—高い、5—極めて高い)を用いて発行体を評価する企業自身のESGリスク勧告を用いてESGリスクについて評価を受ける。各サブ・ファンドは、UBS ESGリスク勧告全体が1から3の間にあり、サステナビリティ・フォーカス・ファンドにとって受け入れ可能なリスクであるとみなされる場合を除き、概して、(ESG統合の項に記載される)ESGリスク・ダッシュボードにおいて特定されるリスクのある企業発行体を除外する。

非企業発行体:企業自身のESGリスク勧告がない場合、サブ・ファンドは独自のESGリスク・ダッシュボードシグナルによるリスク・シグナルを考慮して、独自のESGリスク・ダッシュボードによるポジティブ・リスク・シグナルの発行体を除外する。

証券化債券は、ESG統合プロセスの対象範囲部分ではない。

サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー:

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外(エクスクルージョン)事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針 サステナビリティ・エクスクルージョン・ポリシー」の項に記載されている。

● **当該投資戦略を適用する前に考慮される、投資範囲を縮小するための確約された最低比率はどのくらいか？**

該当なし。

● **投資先企業の良好なガバナンス慣行を評価するための方針とはどのようなものか？**

良好なコーポレート・ガバナンスは持続可能なパフォーマンスの主要な推進力であるため、ポートフォリオ・マネジャーの投資戦略に織り込まれている。ポートフォリオ・マネジャーは、重大なESGリスクがある企業を識別するために、内部および認められた外部プロバイダーからの複数のESGのデータ・ソースを組み合わせた独自のESGリスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスにESGリスクが組み入れられるようにするために、実用的なリスク・シグナルがポートフォリオ・マネジャーに対してESGリスクを明確に示す。良好なガバナンスの評価には、取締役会の構造および独立性、報酬の整合性、所有および経営の透明性ならびに財務報告について見ることが含まれる。

良好なガバナンス
慣行には、健全な経営体質、従業員関係、スタッフの報酬および税務コンプライアンスが含まれる。



この金融商品について予定されている資産配分はどのようなものか？

この金融商品により促進される環境的および／または社会的特性を満たすために利用される投資対象の最低比率は80%である。この金融商品の持続可能な投資対象の最低比率は10%である。

資産配分とは、特定の資産への投資の割合を説明するものである。

タクソノミー適合活動は、以下のものに占める割合として表される。

- 投資先企業のグリーン活動による収益の割合を反映した売上高
- 投資先企業が行うグリーン投資(例えば、グリーン経済への移行のためのもの)を示す

資本的支出
(CapEx)

- 投資先企業のグリーン事業活動を反映した事業運営費(OpEx)



#1 E/S 特性に整合には、この金融商品により促進される環境的または社会的特性を実現するために利用されるこの金融商品の投資対象が含まれる。

#2 その他には、環境的または社会的特性に整合しておらず、かつ、持続可能な投資対象としての適格性も有していないこの金融商品の残りの投資対象が含まれる。

#1 E/S 特性に整合の区分は以下を包含する。

- #1A 持続可能な細区分は、環境目的または社会目的を有する持続可能な投資対象を包含する。
- #1B その他の E/S 特性の細区分は、持続可能な投資対象として適格でない環境的または社会的特性に整合している投資対象を包含する。

● この金融商品により促進される環境的または社会的特性はデリバティブの利用によりどのように実現されるか?

この金融商品により促進される特性の実現のためにデリバティブは利用されない。デリバティブは、主としてヘッジ目的および流動性管理目的のために利用される。



環境目的を有する持続可能な投資は少なくともどの程度EUタクソノミーに適合しているか?

タクソノミー規則第9条に定められる一または複数の環境目的に関するデータならびにこの金融商品の原投資がタクソノミー規則第3条に基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動に対してどのようにおよびどの程度行われているか(以下「タクソノミー適合投資」という。)に関するデータは収集することができていない。そのことから、この金融商品のタクソノミー適合投資は0%である。

● この金融商品はEUタクソノミーを遵守する化石燃料ガスおよび/または原子力に関連する活動に投資するか¹?

投資する。

化石燃料ガスに投資する。

原子力に投資する。

✖ 投資しない。

以下の2つのグラフは、EUタクソノミーに適合している投資対象の最低割合を線(本書に該当箇所はない。)で示している。ソブリン債*のタクソノミー適合性を判断する適切な方法がないため、1つ目のグラフは、この金融商品のソブリン債を含むすべての投資対象に関してタクソノミー適合性を示しているが、2つ目のグラフは、この金融商品のソブリン債以外の投資対象に関してのみタクソノミー適合性を示している。

1. ソブリン債*を含む
投資対象のタクソノミー適合性
タクソノミー適合
(化石燃料ガスおよび原子力を含まない。)
タクソノミー不適合



2. ソブリン債*を除く
投資対象のタクソノミー適合性
タクソノミー適合
(化石燃料ガスおよび原子力を含まない。)
タクソノミー不適合



このグラフは、すべての投資対象の×%**を表す。

*これらのグラフの解釈上、「ソブリン債」はすべてのソブリン・エクスポートジャーで構成される。

**関連しない(タクソノミー適合の投資対象がない)ため、割合は記載していない。

¹ 化石燃料ガスおよび/または原子力に関連する活動は、それが気候変動の抑制(以下「気候変動緩和」という。)に寄与し、EU タクソノミーの目的を著しく害するものではない場合にのみ、EU タクソノミーを遵守する。左欄外の注記を参照すること。EU タクソノミーを遵守する化石燃料ガスおよび原子力の経済活動に関する完全な基準は、委員会委任規則(EU)2022/1214 に定められる。

● トランジショナル活動およびイネーブリング活動への投資の最低割合はどのくらいか？

トランジショナル活動およびイネーブリング活動への投資の最低比率に対する確約はない。

は、EUタクソノミーに基づく環境的に持続可能な経済活動の基準を考慮していない、環境目的を有する持続可能な投資である。



EUタクソノミーに適合していない、環境目的を有する持続可能な投資の最低割合はどのくらいか？

この金融商品による持続可能な投資は、環境目的もしくは社会目的またはその双方に貢献する。この金融商品は、予め定められた環境目的または社会目的の組み合わせを確約するものではなく、そのため、EUタクソノミーに適合していない、環境目的を有する持続可能な投資の最低割合は設定されていない。この金融商品がタクソノミー適合ではない環境的に持続可能な投資対象に投資する場合、これはタクソノミー適合性を決定するのに必要なデータが欠如しているためである。



社会的に持続可能な投資の最低割合はどのくらいか？

この金融商品による持続可能な投資は、環境目的もしくは社会目的またはその双方に貢献する。この金融商品は、予め定められた環境目的または社会目的の組み合わせを確約するものではなく、そのため、社会的に持続可能な投資の最低割合は設定されていない。



どのような投資対象が「#2 その他」に含まれるのか、かかる投資対象の目的は何か、また最低限の環境セーフガードまたは社会セーフガードはあるのか？

流動性管理およびポートフォリオ・リスク管理の目的のための現金および無格付商品が「#2 その他」に含まれる。無格付商品には、環境的または社会的特性の実現度の測定に必要とされるデータ入手することができない有価証券も含まれることがある。



この金融商品がこの金融商品の促進する環境的および/または社会的特性に整合しているかを判断するための参照ベンチマークとして特定の指標が指定されるのか？

この金融商品がこの金融商品の促進する特性に整合しているかを判断する目的のために指定されているESG参照ベンチマークはない。

● 参照ベンチマークは、この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれとどのように継続的に整合するのか？

該当なし。

● 投資戦略と指標の手法の整合性はどのように継続的に確保されるのか？

該当なし。

● 指定指標は、関連する広範な市場指標とどのように異なるのか？

該当なし。

● 指定指標の計算に用いられる方法についてはどこを参照すればよいか？

該当なし。

参照ベンチマークとは、金融商品が当該金融商品の促進する環境的または社会的特性を実現するかを測定するための指標である。



より詳細な商品特有の情報をオンラインで探す場合、どこを参照すればよい
か？

より詳細な商品特有の情報は、ウェブサイト(www.ubs.com/funds)で参照することができる。

別紙B

交付目論見書の概要

<訂正前>

フォーカス・シキャブ
- グローバル・ボンド
- ハイ・グレード・ボンド・米ドル
- ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドル
- ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル
(後略)

<訂正後>

フォーカス・シキャブ
- グローバル・ボンド
- ハイ・グレード・ボンド・米ドル
- ハイ・グレード・ロング・ターム・ボンド・米ドル
- USコーポレート・ボンド・米ドル
- ワールドバンク・ロング・ターム・ボンド・米ドル

(注) 2025年5月20日付で、フォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・サステナブル・米ドルはフォーカス・シキャブ - USコーポレート・ボンド・米ドルに名称を変更しました。以下同じです。

(後略)